

# モンゴル経済概況 (2014年7月)

2014年8月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL：03-3582-5181

E-mail：ORG@jetro.go.jp

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

アンケート返送先 FAX： 03-3582-5309  
e-mail：ORG@jetro.go.jp  
日本貿易振興機構 海外調査部 中国北アジア課宛



● ジェトロアンケート ●

調査タイトル：モンゴル経済概況（2014年7月）

今般、ジェトロでは、標記調査を実施いたしました。報告書をお読みになった感想について、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書での内容について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

■お客様の会社名等をご記入ください。（任意記入）

ご所属	<input type="checkbox"/> 企業・団体	会社・団体名
	<input type="checkbox"/> 個人	部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針 (<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

## < 目 次 >

1. 政治・外交動向	1
(1) 国内	1
①【閣議】第 26 回臨時閣議	1
②【閣議】第 27 回定例閣議	1
③【閣議】第 28 回臨時閣議	2
④【閣議】第 29 回定例閣議	3
⑤【閣議】第 32 回臨時閣議	3
⑥【閣議】第 33 回定例閣議	3
(2) 外交・国際	5
①【UAE】アブダラー外務大臣がモンゴルを公式訪問	5
②【ラトビア】ベールジンシュ大統領がモンゴルを公式訪問	5
③【日本】第7回 EPA 交渉をウランバートルで開催	5
④【中国】王毅外交部長がモンゴルを公式訪問	5
⑤【香港】在香港モンゴル商工会議所を開設	6
2. 経済動向	7
(1) マクロ経済	7
①【インフレ・CPI】6 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比 14.6 ポイント上昇	7
②【マネーサプライ】M2 は前年同月比 27.6%増	8
③【貸付残高】貸付残高は前年同期比 42.9%増、不良債権残高は同 79.1%増	10
④【金利】トゥグルク金利は前月比 0.3 ポイント低下の 18.8%	11
⑤【財政収支】1～6 月の財政収支は 2,406 億トゥグルクの赤字	12
(2) 貿易・投資	14
①【貿易統計】1～6 月の貿易収支は 2,040 万ドルの赤字	14
②【外貨準備高】グロス外貨準備高は 16 億 450 万ドル	17
③【為替】対ドル、対円ともにトゥグルク安	18
(3) 産業	19
①【企業登記件数】前年同期比 15.8%増の 10 万 7,008 社	19
②【不動産】ウランバートル市中心部のアパート価格は前年同期比 31.6%上昇	19
③【建設業】建設・改修業務の受注額(速報値)は前年同期比 25.9%増	19
④【通信業】売上は前年同期比 23.9%増	19
⑤【出入国者数】前年同期比 2.0%減の 189 万 4,726 人	20
3. 社会動向	22
①【人口】1,000 人あたりの人口純増は 11.3 人	22
②【雇用統計】失業率は前年同期比 0.1 ポイント増の 9.4%	22
2014 年 9 月～12 月の予定	23

## 1. 政治・外交動向

### (1) 国内

#### ①【閣議】第 26 回臨時閣議

第 26 回臨時閣議が 6 月 4 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

##### ・ 動産および無形資産担保法を国会に上程

現状、金融機関は融資に際して不動産を担保にしており、中小企業や自営業者に多い不動産を持たない者は融資による資金調達ができない。そこで政府は、動産および無形資産担保法案に、所有権の移転が可能な動産、全ての有価証券、請求権、科学・文学・芸術・特許・実用新案・商標などの知的所有権、および他の全ての無形資産を担保として認めるよう記載し、国会に上程することを決定した。

##### ・ 銀行業界の税政策を承認

銀行業界の困難を解決することを目的に、経済活性化 100 日プログラムの枠組みで企業所得税法改正案および改正付加価値税法案について審議した。商業銀行が国際資本市場で社債を発行して資金調達する際、投資家、債権者に課す利息収入税率を現行の 20% から 10% に下げるとの内容を盛り込み国会に上程する。また改正付加価値税法案には銀行・ノンバンクが債権回収を目的に、一時的に占有、売却した不動産への付加価値税を免除することを盛り込み、国会内の作業部会に提出することを決定した。

##### ・ 道路建設・改修作業の進捗を報告

契約期間までに完成しなかった「ウニトータリアラン」間の 40km、「ウンドゥルハーナーチョイバルサン」間の 143km の道路建設について、他社と契約を結び直して施工し、ドルノド、スフバートル、ウムヌゴビ、フブスグルの各県庁所在地を首都と結ぶ道路工事を推進し、期限までに品質を確保しつつ完成するようガンسف道路・運輸大臣に指示した。また地方の道路、橋の改修作業については、担当企業を早急に選抜し契約を結び、2013 年に完成・開通した道路は、国家委員会が早急に検収作業を行うことを各担当者に命じるとともに、2014 年の道路定期改修および大規模修理作業の中から優先的に実施する「ウランバートルーダルハン」間、「エルデネサントーアルバイヘル」間の道路の改修および補修作業の財源となる 106 億トゥグルクを開発銀行から融資することを決定した。

#### ②【閣議】第 27 回定例閣議

第 27 回定例閣議が 6 月 6 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

- ・ 国有資産の一部を競売で売却

経済活性化対策に関する国会決議、緊縮予算移行に関する閣議決定を実行する枠組みで、国有企業の資産のうち、競売で売却する不動産のリストを本日の閣議で承認した。建物およびその土地の占有権、使用权、所有権などを競売で売却する作業を関連法規に従って行い、競売による収入を国庫に納めることをウラン財務大臣、ツォグトバートル国有財産委員長に指示した。これにより、国有資産の私有化、利用効率の改善、歳入の確保などに一定の効果があると見ている。

- ・ 改正法人登記法案および関連法案を国会に上程

法人登記を簡素化・迅速化するために、改正法人登記法案に法人の設立、変更、解散および記載事項の修正を国家登録データベースに登録することを規定した。担当登録所の役割・責任・権限を定義し、電子証明書の発行、法人登記および履歴などにつき規定した。データベース化により、申請者は法人名称の検索、証明書の発給が簡素化され、法人登記にかかる日数も2～3日に短縮される。

### ③【閣議】第28回臨時閣議

第28回臨時閣議が6月12日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

- ・ 第5火力発電所のコンセッション契約を締結

第5火力発電所のコンセッション契約を5th Combined Heat and Power Plant社とBOT（建設・運営・譲渡）の条件で締結することをバトバヤル経済開発大臣が許可し、コンセッション実施に必要な石炭と水の供給、焼却灰排出、送電線および給熱管の接続、鉄道・道路その他の構造物の建設許可、環境影響評価の監査を行うよう関係閣僚に指示するとともに、発電所建設に必要な土地の占有権を与えるようバトウール・ウランバートル市長に指示した。プロジェクトの投資額は12億ドル、コンセッション契約の期間は25年で、建設事業は3年で完成の予定である。

- ・ 判決執行法改正案を国会に上程

経済活性化100日プロジェクトの枠内で、債権回収迅速化のために判決執行法を改正する。現状、債務者が判決執行の各段階で根拠のない不服申し立てをして迅速な執行を妨げたり、債務者の住所変更の通知義務がないために住所特定に時間がかかったり、債務者が資産・収入を隠すまたは他人名義に移して差し押さえを免れることが多くある。このため、執行に対する不服申し立てについて法規定を変更し、債務者が住所を変更した場合に通知を義務化し、債権者の請求で債務者の資産評価を行えるよう法案に盛り込んだ。

#### ④【閣議】第 29 回定例閣議

第 29 回定例閣議が 6 月 14 日に開催され、通信法改正法案を国会に上程することを決定した。

同法案には番号ポータビリティに関する規定が追加された。政府は番号ポータビリティが導入されることにより、利用者が携帯電話会社を変更する際に、番号変更の連絡が不要となるだけでなく、利用者の携帯電話会社選択の自由が広がり、携帯電話会社間の競争が促進されることで、より良いサービスを受ける機会が増えるなどの効果があると見込んでいる。

#### ⑤【閣議】第 32 回臨時閣議

第 32 回臨時閣議が 6 月 21 日に開催され、債務補償基金法改正案を国会に上程することを決定した。

地方の中小企業経営者を支援するため、債務保証基金の財源を増やし、地方での活動を拡大させるよう法整備する必要がある。債務保証基金法改正案では、県議会が地方の融資希望者の債務を保証するための資金を配分する。融資希望者への債務保証の問題は、債務補償基金の規則で規定するとした。各自治体の首長と債務保証基金の理事会は同規則を合同で承認する。同基金の理事会に、銀行協会の代表を参加させることで、理事会の責任と権限を高めるとともに、金融調整委員会の代表を監査役とするとした。

#### ⑥【閣議】第 33 回定例閣議

第 33 回臨時閣議が 6 月 25 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

##### ・第 4 火力発電所を 100MW 拡張

モンゴル開発銀行に対して、ロシアのヴネシュエコノムバンク(VEB)から 7,500 万ドルの融資を受ける契約を締結する認可を与えた。同融資は、第 4 火力発電所の能力拡張のために必要とされる 100MW のタービン発電機の購入と設置を目的としたもので、同行とは再契約となる。VEB への返済期間は、「プロジェクト融資、返済調整契約」であるため、2022 年まで延長することが可能となる。

##### ・モンゴル開発銀行が外国銀行と協力する

輸出促進プログラムを実施するために必要な機械調達の財源を確保するために、モンゴル開発銀行が商用銀行に対して各行自己資本比率 10%以下の融資を実行することを許可した。また政府は、輸出促進、輸入代替産業プロジェクトを民間に募集した結果、計 161 件のプロジェクトが 2 兆 4,300 億トゥグルク相当の機械の輸入

を計画していることがわかった。そのため、モンゴル開発銀行はアメリカ、韓国、中国、トルコ、日本、ロシア、イタリアの輸出入銀行から財源の調達を計画している。

- ・郡中心の改善プロジェクトの進捗を報告

建設、都市建設省は、同プロジェクトを実施する 16 郡の開発マスタープラン、上下水道工事設計図を該当する県や地方の関連専門機関と協力して作成し、法に従い入札を行うと発表した。同プロジェクトの実施が完了すれば、6 万 5,000 人以上が上下水道の利用が可能になり、集中暖房のある環境で暮らすことが可能となる。



## (2) 外交・国際

### ①【UAE】アブダラー外務大臣がモンゴルを公式訪問

アラブ首長国連邦（UAE）のアブダラー外務大臣が6月3～4日にモンゴルを公式訪問した。アブダラー外務大臣は、エルベグドルジ大統領、アルタンホヤグ首相を表敬し、ボルド外務大臣と会談した。会談の際、双方は首脳会談の定期的開催、経済協力の推進、教育・文化交流の強化、政府間委員会の設立などで協力し、両国間の直行便就航について検討するほか、ウランバートルにUAE大使館を2年以内に開設することで合意した。UAE政府はモンゴルの主要なプロジェクトにアブダビ開発基金から融資し、協力する用意があることを表明した。

### ②【ラトビア】ベールジンシュ大統領がモンゴルを公式訪問

ラトビア共和国のベールジンシュ大統領が6月11～13日にモンゴルを初めて訪問し、エルベグドルジ大統領と公式会談を行なった。会談では、双方が両国関係の現状を評価するとともに、両国の経済、貿易、投資などの分野での協力を重点的に発展させ、鉄道輸送分野ではラトビアの不凍港経由での「EU－モンゴル」間の輸送に協力し、教育関係の交流を復活させ、モンゴルからラトビアへの留学生派遣などについて話し合った。また公用および外交旅券保持者の査証免除、国際トラック輸送に関する政府間協定、両国外務省間の協力覚書などに署名した。

### ③【日本】第7回EPA交渉をウランバートルで開催

ボルド外務大臣は6月12日、経済連携協定(EPA)第7回交渉の日本側代表の木原外務副大臣と会談した。会談の冒頭、ボルド外務大臣は両国間の相互信頼が高まり、協力関係が戦略的パートナーシップのレベルに発展したことに満足感を表明し、昨年の両国首脳相互訪問は関係強化に大きな後押しとなったと評価した。ボルド外務大臣は、EPAが両国の貿易、経済の協力を総合的に発展させるのに大いに意義があると述べ、交渉が年内に妥結することを確信していると述べた。これを受けて木原外務副大臣は、両国の政治、経済の関係を活発に発展させることに努力すると述べた。双方は経済協力を促進するため、モンゴル政府が日本経済団体連合会と協力して7月22日に東京で行う「モンゴル投資セミナー」を成功させるために密接に協力することで合意した。

### ④【中国】王毅外交部長がモンゴルを公式訪問

中国の王毅外務大臣が6月24～26日にモンゴルを公式訪問し、エルベグドルジ大統領、アルタンホヤグ首相、テルビンダグワ副首相を表敬し、ボルド外務大臣と会談した。会談では双方が国交樹立65周年記念祝賀事業、貿易・経済などの共同プロジェクトの促進、文化、教育、科学、人道といった分野の関係活性化などについて意見交換し、両国の協力活動の様々な事項で合意した。

**⑤【香港】在香港モンゴル商工会議所を開設**

在香港モンゴル総領事館はモンゴルと香港の貿易を促進することを目的に、在香港モンゴル商工会議所を開設したと報告した。

(出所：モンゴル政府官房、モンゴル国会、モンゴル外務省の各ウェブサイト)

## 2. 経済動向

### (1) マクロ経済

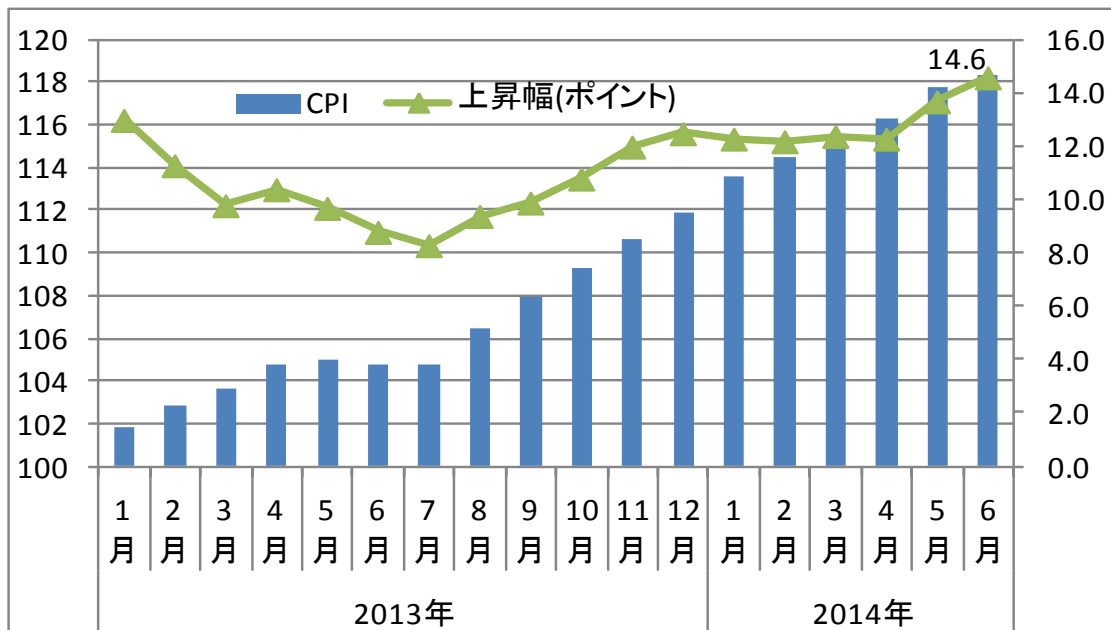
#### ①【インフレ・CPI】6月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比14.6ポイント上昇

6月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比14.6ポイント(前月比0.5ポイント)上昇した(図1、表1参照)。

品目別では、教育が27.2ポイント、被服および履物が20.9ポイント、家具・日用品が19.0ポイント、アルコール・タバコが16.3ポイント、レストラン・ホテルが15.9ポイント、食料品が13.7ポイント、保健医療が13.7ポイント、住居・水道が12.5ポイント、交通・輸送が6.8ポイント、娯楽が3.1ポイント、その他の商品・サービスが23.3ポイントそれぞれ前年同月比で上昇した。一方、郵便・通信は同率だった(表2参照)。

(図1)消費者物価指数(CPI)の推移

(左軸:CPI、右軸:前年同月比上昇幅)



(出所)国家統計局月報

(表1)消費者物価指数(CPI)の推移

	2013年						2014年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費者物価指数(CPI)	104.8	106.5	107.9	109.3	110.6	111.9	113.6	114.5	115.3	116.3	117.8	118.3
前月比	0.1	1.7	1.4	1.4	1.3	1.3	1.7	0.9	0.8	1.0	1.5	0.5
前年同月比	8.3	9.4	9.9	10.8	12.0	12.5	12.3	12.2	12.4	12.3	13.7	14.6

(注1)消費者物価指数(CPI)は2013年初を100とする。

(注2)前月比、前年同月比は上昇幅(ポイント)。

(出所)国家統計局月報

(表2)品目別の消費者物価指数(CPI)上昇幅 (単位:ポイント)

品目名	前年同月比		前月比	
	5月	6月	5月	6月
食料品	11.7	13.7	2.8	0.7
アルコール・タバコ	16.9	16.3	1.3	0.1
被服および履物	20.2	20.9	1.6	1.0
住居・水道	13.2	12.5	△0.4	△1.2
家具・日用品	19.0	19.0	1.3	0.7
保健医療	11.4	13.7	1.4	2.8
交通・輸送	5.2	6.8	0.9	0.6
郵便・通信	△0.1	0.0	0.1	0.1
娯楽	1.9	3.1	0.8	0.4
教育	27.2	27.2	0.0	0.0
レストラン・ホテル	16.7	15.9	2.6	0.2
その他の商品・サービス	22.1	23.3	1.5	1.2

(出所)国家統計局月報

## ②【マネーサプライ】M2は前年同月比27.6%増

6月末時点の通貨供給量(M2)は前年同月比27.6%増(前月比0.3%減)の10兆2,112億トウグルクだった(表3、図2参照)。

なお、総預金は前年同月比43.5%増(同1.3%増)の7兆2,339億トウグルク、トウグルク預金は前年同月比47.0%増(同1.0%増)の5兆7,925億トウグルク、外貨預金は前年同月比31.0%増(同2.6%増)の1兆4,414億トウグルクだった。

(表 3) マネーサプライの推移

(単位: 億トゥグルク、%)

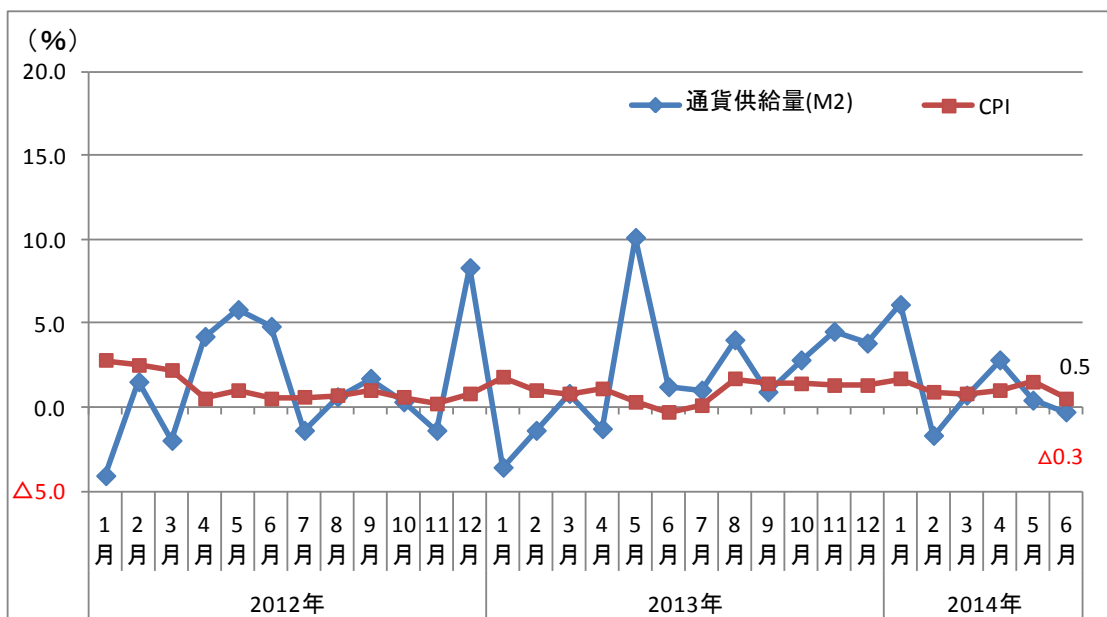
	2013年6月	2014年5月	2014年6月
通貨供給量 (M2)	80,038	102,405	102,112
前年同期比	13.5	29.5	27.6
前月比	1.2	0.4	Δ0.3
総預金	50,411	71,378	72,339
前年同期比	15.4	38.9	43.5
前月比	Δ1.9	Δ0.8	1.3
トゥグルク預金	39,404	57,331	57,925
前年同期比	27.9	45.2	47.0
前月比	Δ0.2	Δ0.1	1.0
外貨預金	11,007	14,047	14,414
前年同期比	Δ14.5	18.0	31.0
前月比	Δ7.5	Δ3.3	2.6

(出所) 国家統計局月報

マネーサプライの構成比は、トゥグルク預金が 56.0%、トゥグルク当座が 12.0%、外貨預金が 13.7%、外貨当座が 12.5%、現金が 5.8% だった。前年同期比でトゥグルク預金は 6.1 ポイント増加し、トゥグルク当座は 2.9 ポイント、外貨預金は 1.4 ポイント、外貨当座は 0.0 ポイント、現金は 1.8 ポイントそれぞれ減少した (図 3 参照)。

(図 2) 貨幣供給量(M2)と消費者物価指数(CPI)の前月比伸び率

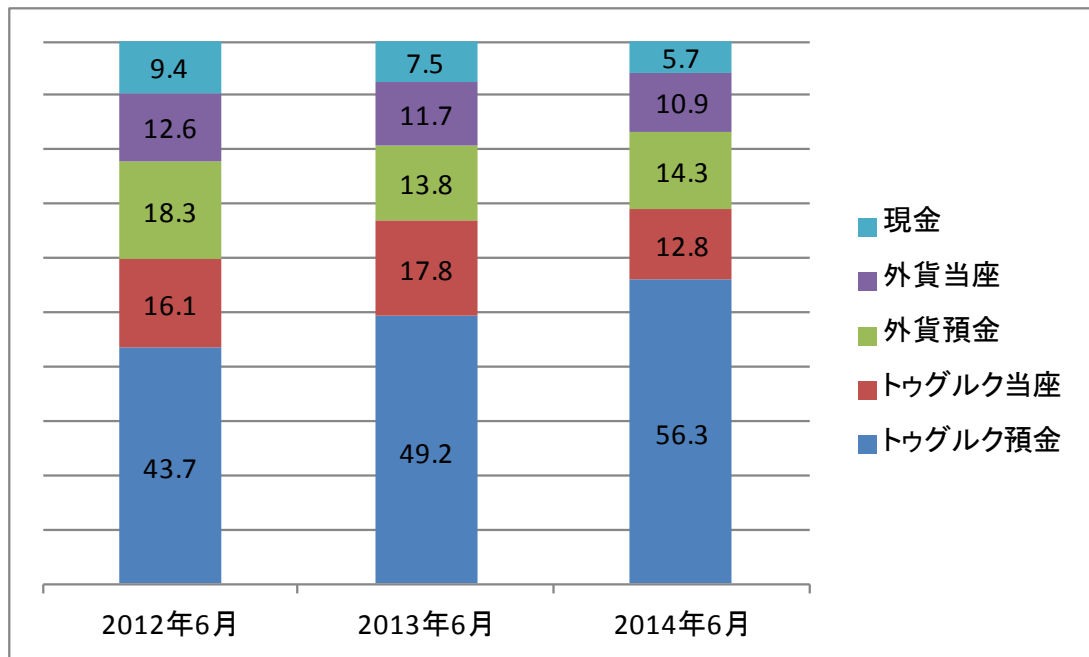
(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

(図3) マネーサプライの構成比

(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

## ③【貸付残高】貸付残高は前年同期比 42.9%増、不良債権残高は同 79.1%増

6月末時点の貸付残高は前年同期比 42.9%増（前月比 2.0%増）の 12兆 3,021 億トウグルクだった（表 4 参照）。

(表 4) 貸付残高の推移

(単位: 億トウグルク、%)

	2013年6月	2014年5月	2014年6月
貸付残高	86,077	120,649	123,021
前年同期比	36.2	46.7	42.9
前月比	4.6	2.8	2.0
不良債権残高	3,166	6,198	5,670
前年同期比	2.9	94.9	79.1
前月比	Δ0.4	0.6	Δ8.5
期限超過債権残高	1,497	3,812	4,383
前年同期比	189.0	160.4	192.8
前月比	2.3	27.5	15.0
不良債権比率	3.7	5.1	4.6
期限超過債権比率	1.7	3.2	3.6

(出所) 国家統計局月報

貸付先別にみると、民間セクターに 6 兆 5,909 億トウグルク（構成比 53.6%）、個人に 5 兆 6,024 億トウグルク（同 45.5%）、公的機関に 750 億トウグルク（同 0.6%）、金融機関に 262 億トウグルク（同 0.2%）、その他の機関に 75 億トウグルク（同 0.1%）がそれぞれ貸し出されている。

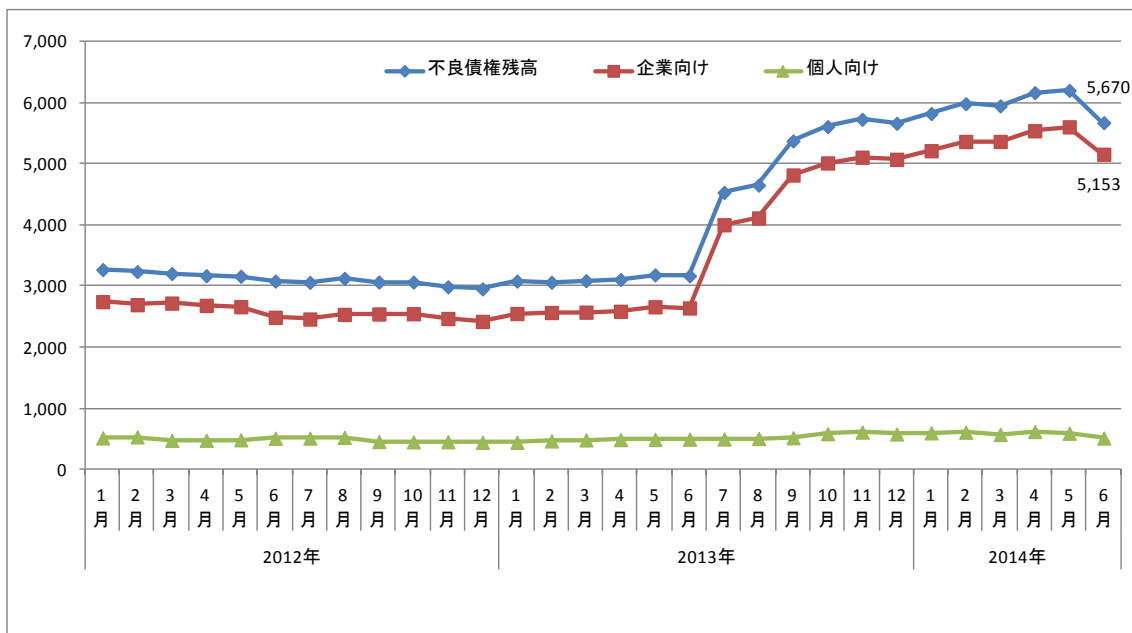
不良債権残高は、前年同期比 79.1%増（前月比 8.5%減）の 5,670 億トウグルクだった（図 4 参照）。不良債権比率は 4.6%と、前年同期比で 0.9 ポイント拡大、前月比で 0.5 ポイント縮小した。

期限超過債権残高は、前年同期比 2.9 倍（前月比 15.0%増）の 4,383 億トウグルクだった。期限超過債権比率は 3.6%と、前年同期比で 1.9 ポイント拡大、前月比で 0.4 ポイント拡大した。

なお、市中銀行の総資産は前年同期比 31.4%増（前月比 0.2%減）の 18 兆 6,204 億トウグルク、政府債務は前年同期比 1.7 倍（前月比 1.2%減）の 2 兆 2,428 億トウグルクだった。

（図 4）不良債権残高の推移

（単位：億トウグルク）



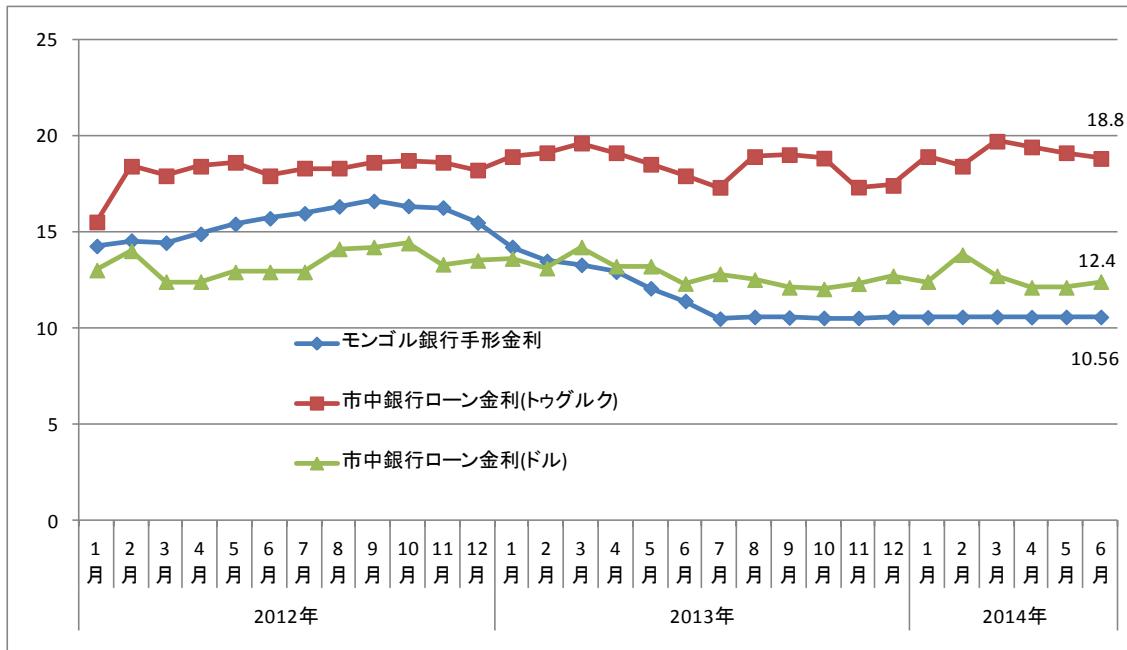
（出所）国家統計局月報

④【金利】トウグルク金利は前月比 0.3 ポイント低下の 18.8%

2014 年 6 月末時点の銀行ローン金利（年利）は、トウグルクが前月比 0.3 ポイント低下（前年同月比 0.9 ポイント上昇）の 18.8%、ドルは前月比 0.3 ポイント上昇（前年同月比 0.1 ポイント上昇）の 12.4%だった（図 5 参照）。

(図 5) 銀行ローン金利の推移(年利)

(単位: %)



(出所)モンゴル銀行

### ⑤【財政収支】1～6月の財政収支は2,406億トゥグルクの赤字

1～6月の歳入および外国からの援助は前年同期比9.0%増の2兆7,294億トゥグルク、歳出および返済は同12.6%増の2兆9,700億トゥグルク、財政収支は2,406億トゥグルクの赤字だった(図6参照)。

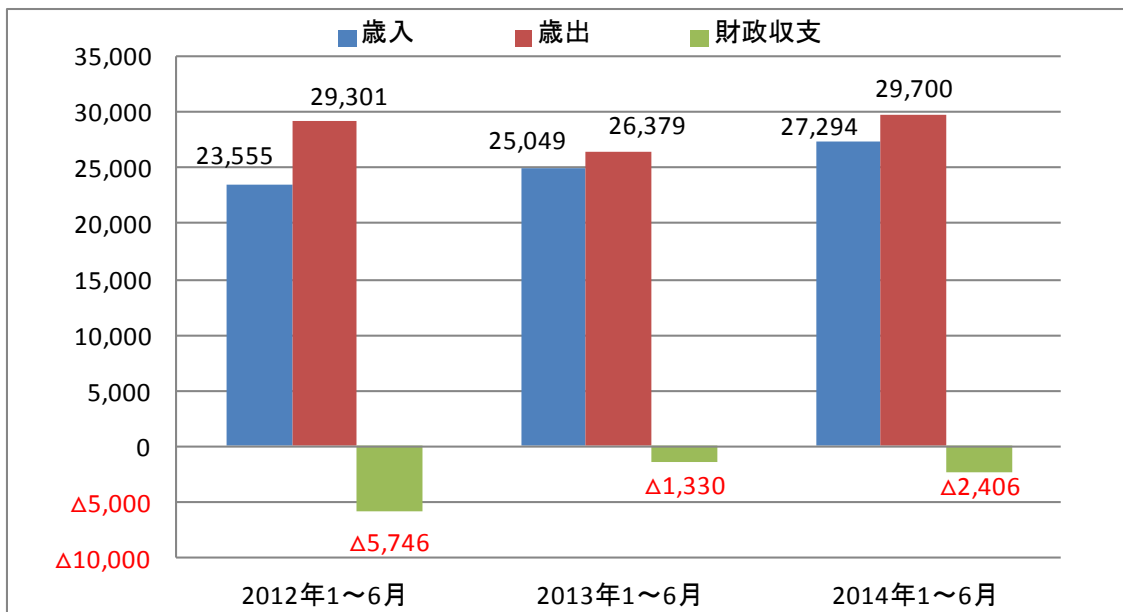
歳入および外国からの援助の内訳をみると、税金が84.5%(前年同期比1.1ポイント減)、税以外の収入が14.8%(同1.7ポイント増)、財政安定化基金からの収入が0.7%(同0.6ポイント減)を占めた。

歳出および返済の内訳をみると、経常支出が86.7%(同2.5ポイント減)、資本支出が13.0%(同3.4ポイント増)、返済が0.3%(同0.9ポイント減)を占めた。



(図 6) 財政収支の状況

(単位: 億トウグルク)



(出所) 国家統計局月報

## (2)貿易・投資

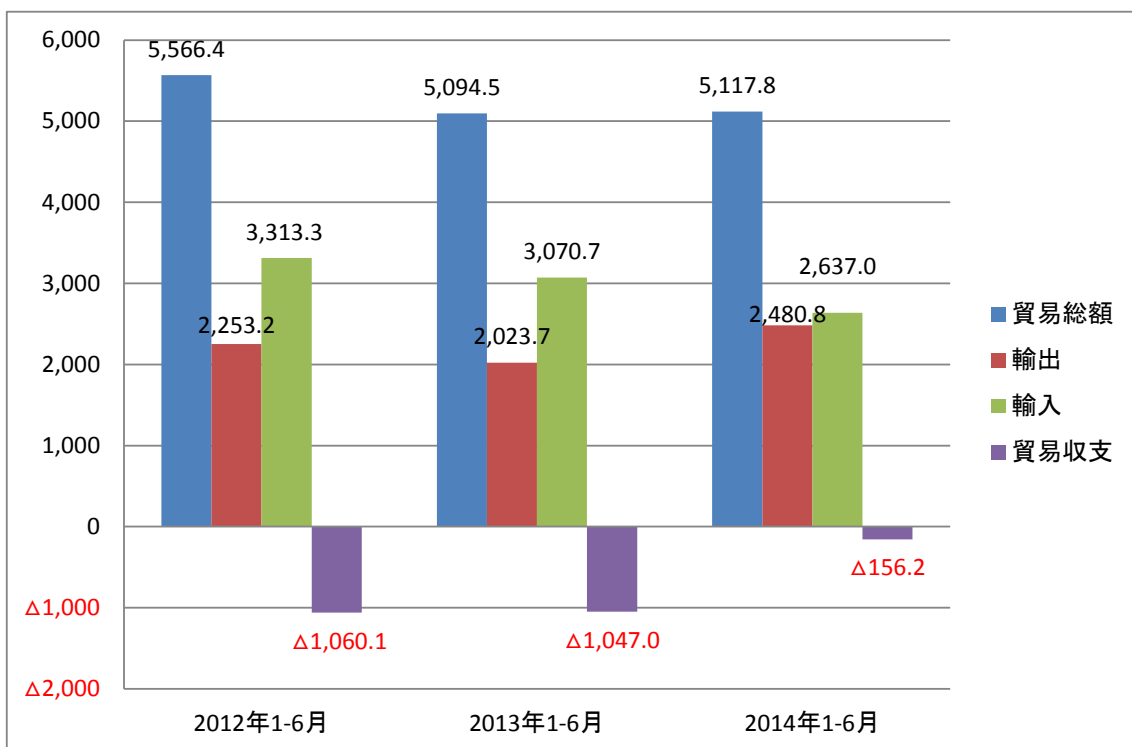
### ①【貿易統計】1～6月の貿易収支は2,040万ドルの赤字

1～6月のモンゴルの貿易総額は前年同期比0.5%増の51億1,780万ドル、うち輸出が同22.6%増の24億8,080万ドル、輸入が同14.1%減の26億3,700万ドルだった。貿易収支は1億5,620万ドルの赤字となった（図7参照）。

貿易相手先は118カ国・地域にのぼった。シェアを見ると、中国が61.2%（前年同期比10.8ポイント増）、ロシアが15.3%（同0.6ポイント増）、その他が23.5%（同11.4ポイント減）を占めた。

(図7)貿易額および貿易収支の推移

(単位:100万ドル)



(出所)国家統計局月報

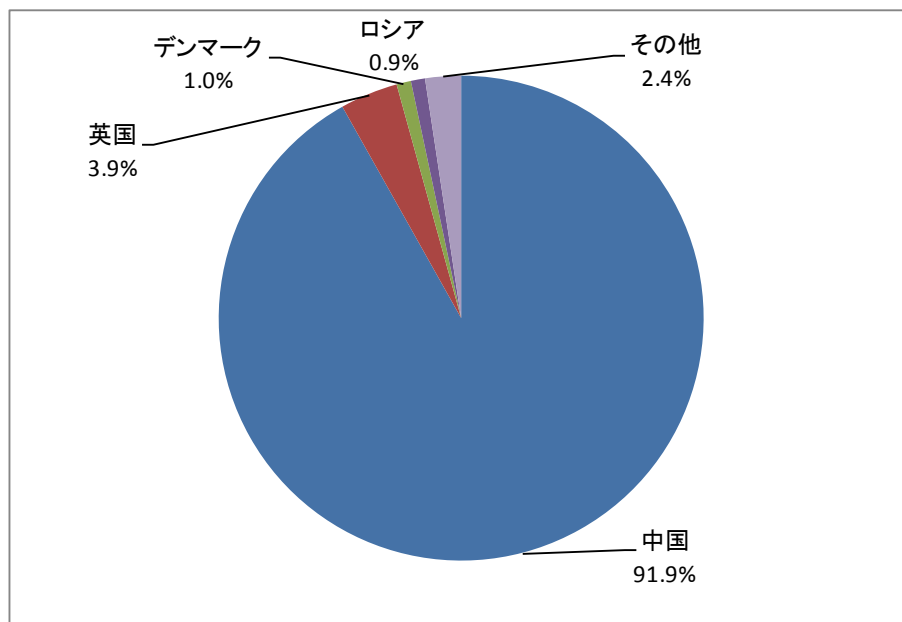
### <輸出の91.9%が中国向け>

輸出相手先は52カ国・地域にのぼる。輸出総額に占めるシェアは、中国が91.9%、英国が3.9%、デンマークが1.0%、ロシアが0.9%、その他が2.4%だった（図8参照）。

主要輸出品目は、鉱物製品、テキスタイル、宝石・貴金属、皮革・毛皮原料などで、これら4品目が輸出総額の97.0%を占める（表5参照）。

(図 8) 輸出相手先のシェア

(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

(表 5) 輸出総額に占める品目別のシェア

(単位: %)

	2012年1~6月	2013年1~6月	2014年1~6月
鉱物資源・製品	90.5	81.2	83.6%
テキスタイル	5.6	8.6	8.9%
宝石・貴金属	2.0	6.7	3.6%
皮革・毛皮原料	0.7	0.9	0.9%
その他	1.2	2.6	3.0%

(出所) 国家統計局月報

(表 6) 鉱物製品の輸出量(数量ベース)(単位: 1,000トン、金はトン、原油は 1,000 バレル)

	2012年1~6月	2013年1~6月	2014年1~6月
石炭	10,301.6	7,483.9	9,357.6
原油	1,533.5	2,138.4	3,193.3
鉄鉱石	3,180.4	3,197.3	2,598.0
粗銅	285.5	282.8	583.5
螢石	204.4	142.1	138.4
亜鉛鉱石	57.6	77.5	45.4
金(未精錬・半精錬)	1.0	3.2	2.5
その他	3.0	3.0	2.6

(出所) 国家統計局月報

このうち鉱物製品の内訳をみると、粗銅が 39.7%（前年同期比 19.7 ポイント増）、石炭が 18.1%（同 8.7 ポイント減）、原油が 12.9%（同 2.9 ポイント増）、鉄鉱石が 8.4%（同 8.9 ポイント減）、未精錬または半精錬の金が 3.6%（同 3.1 ポイント減）、亜鉛鉱石が 2.0%（同 1.7 ポイント減）、蛍石が 1.2%（同 0.6 ポイント減）、モリブデンが 0.5%（同 0.3 ポイント減）、その他の製品が 13.6%（同 0.7 ポイント増）となっている。なお、数量ベースの輸出量は表 6 に示した通りである。

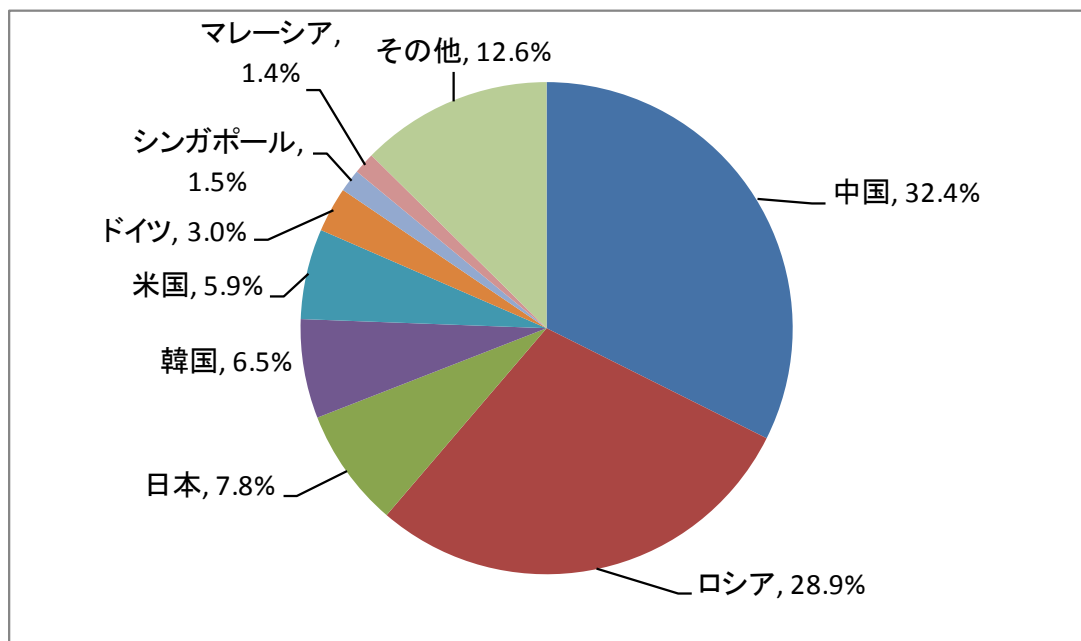
#### <輸入シェアは中国、ロシアで 6 割を占める>

輸入相手先は 88 カ国・地域にのぼる。輸入総額に占めるシェアは、中国が 32.4%、ロシアが 28.9%、日本が 7.8%、韓国が 6.5%、米国が 5.9%、ドイツが 3.0%、シンガポールが 1.5%、マレーシアが 1.4%、その他が 12.6%だった（図 9 参照）。

輸入総額に占める品目別のシェアは、鉱物製品が 26.8%、機械設備・電機製品および同部品が 19.3%、自動車・航空機および同部品が 14.5%、金属製品が 9.9%、食品が 6.8%、その他の製品が 22.9%だった。（図 10 参照）。

（図 9）輸入相手先のシェア

（単位：%）



（出所）国家統計局月報

(図 10) 輸入総額に占める品目別のシェア

(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

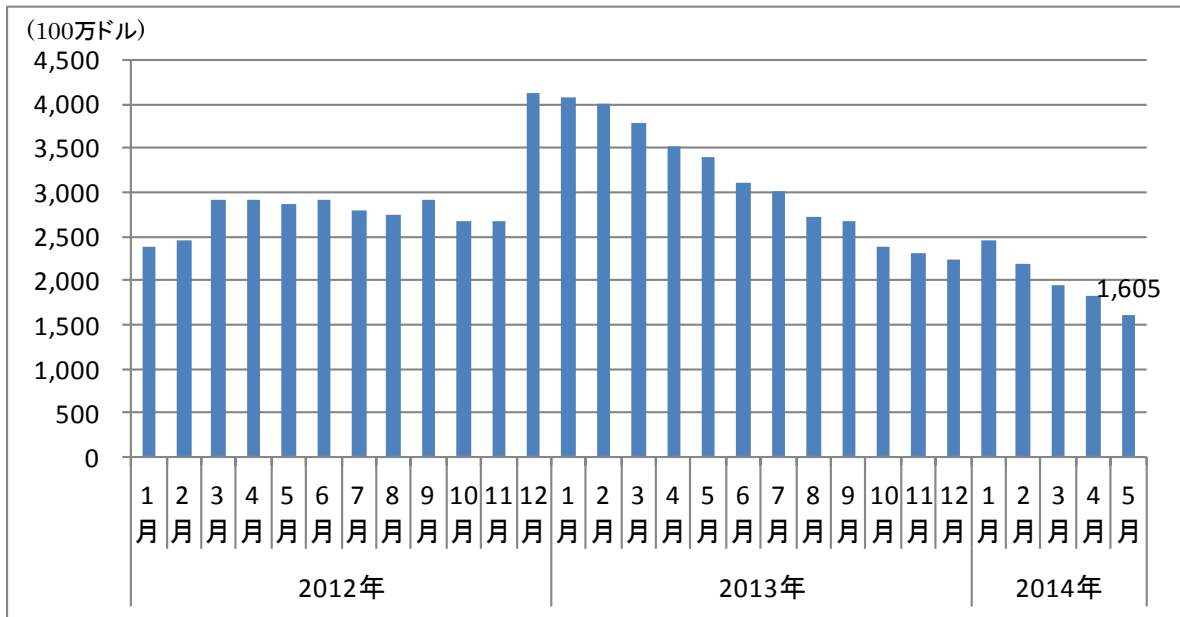
## ②【外貨準備高】グロス外貨準備高は 16 億 450 万ドル

5 月末時点のグロス外貨準備高は、前年同期比 17 億 8,320 万ドル減、前月比 2 億 1,720 万ドル減の 16 億 450 万ドルとなった。(図 11 参照)。

(注: 2014 年 1 月分より国家統計局がネット外貨準備高および輸入決済可能期間を公表しなくなったため、モンゴル銀行発表のグロス外貨準備高を使用した。グロス外貨準備高には以下の資産が含まれる。1. 外国金融機関に保管している金、2. 現金または現金でない外貨、3. 為替手形、4. 外国の政府・中央銀行、国際金融機関が外貨で発行・保証したすべての有価証券、5. 国際的に外貨準備高に含まれるその他の資産)

(図 11) グロス外貨準備高の推移

(単位: 100 万ドル)



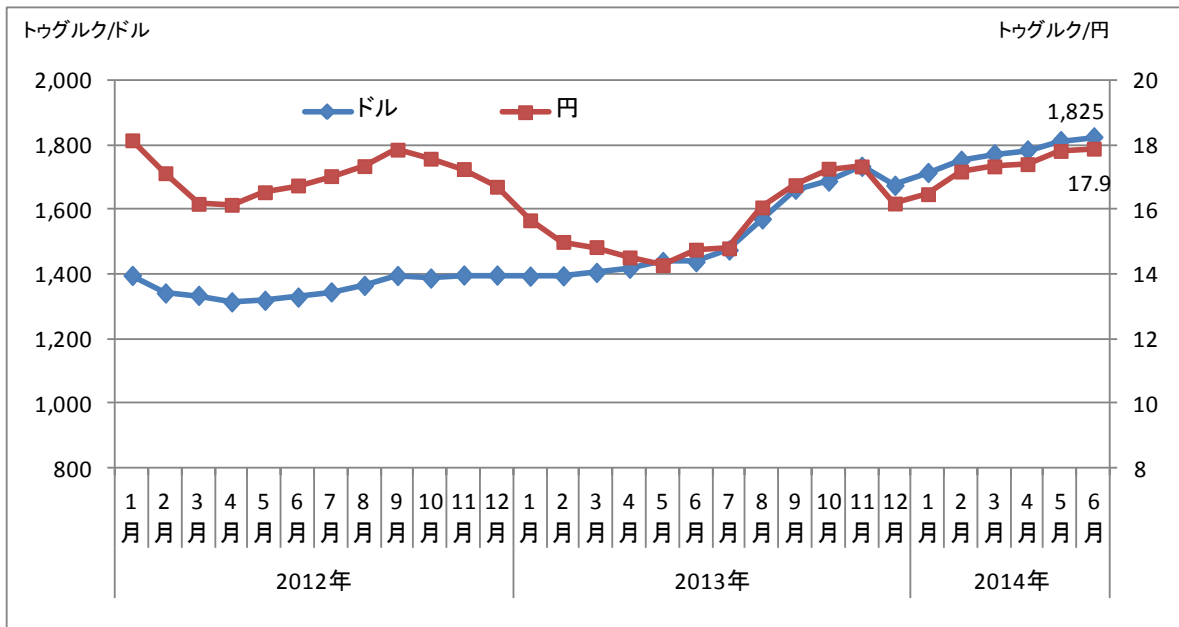
(出所) モンゴル銀行

③【為替】対ドル、対円ともにトゥグルク安

6月の期中平均レートは、対ドルは1,825 トゥグルク、対円は17.9 トゥグルクだった。前月に比べ、対ドル、対円ともにトゥグルク安となった (図 12 参照)。

(図 12) 為替レートの推移

(左軸: 対ドル、右軸: 対円)



(出所) モンゴル銀行

### (3)産業

#### ①【企業登記件数】前年同期比 15.8%増の 10 万 7,008 社

1～6月の企業登記件数は10万7,008社で、このうち5万2,619社(シェア49.2%)が実際に事業を行っている。企業登記件数は前年同期比1万4,566社増加、うち事業を行っている企業は1,364社増加した。

事業を行っている企業を地域別にみると、ウランバートル市で3万1,877社(構成比60.6%)、中部地方で6,796社(同12.9%)、ハンガイ地方で6,167社(同11.7%)、西部地方で5,567社(同10.6%)、東部地方で2,212社(同4.2%)が登録されている。従業員数別にみると、「1～9人」が84.3%、「10～19人」が6.7%、「20～49人」が5.6%、50人以上が3.4%を占めている。

なお、1～6月時点で登記されているものの、事業を行っていない5万4,389社のうち、「一時中断」が3万1,417社(構成比57.8%)、「まだ事業が始まっていない」が1万5,327社(同28.2%)、「住所不明または見つからない」が6,547社(同12.0%)、「事業停止」が1,098社(同2.0%)であった。

#### ②【不動産】ウランバートル市中心部のアパート価格は前年同期比 31.6%上昇

1～6月のウランバートル市中心部の6つの区におけるアパート価格は、前年同期比31.6%上昇した。

アパート価格を区ごとにみると、ソングノハイルハン区が33.1%、ハンオール区が33.1%、バヤンズルフ区が32.4%、スフバートル区が32.3%、バヤンゴル区が30.2%、チンゲルテイ区が29.3%、それぞれ前年同期比で上昇した。築年数別にみると、「1970年以前築」が21.1～31.6%、「1970年～2001年築」が28.9～34.8%、「2002年以降築」が32.5～39.1%、それぞれ前年同期比で上昇した。

#### ③【建設業】建設・改修業務の受注額(速報値)は前年同期比 25.9%増

1～6月の建設・改修業務の受注額(速報値、以下同様)は、前年同期比25.9%増の4,472億トゥグルクだった。このうち、国内企業の受注額は同28.6%増の4,353億トゥグルク(構成比97.3%)、外国企業の受注額は同28.6%減の120億トゥグルク(同2.7%)だった。

受注業務の内訳をみると、アパート建設が35.0%(同4.5ポイント増)、オフィス・店舗ビル建設が23.3%(前年比7.2ポイント減)、施設建設が36.6%(同2.0ポイント増)、改修工事が5.2%(同0.7ポイント増)を占めた。

#### ④【通信業】売上は前年同期比 23.9%増

1～6月の通信業界の売上総額は、前年同期比23.9%増の3,453億トゥグルクだった。

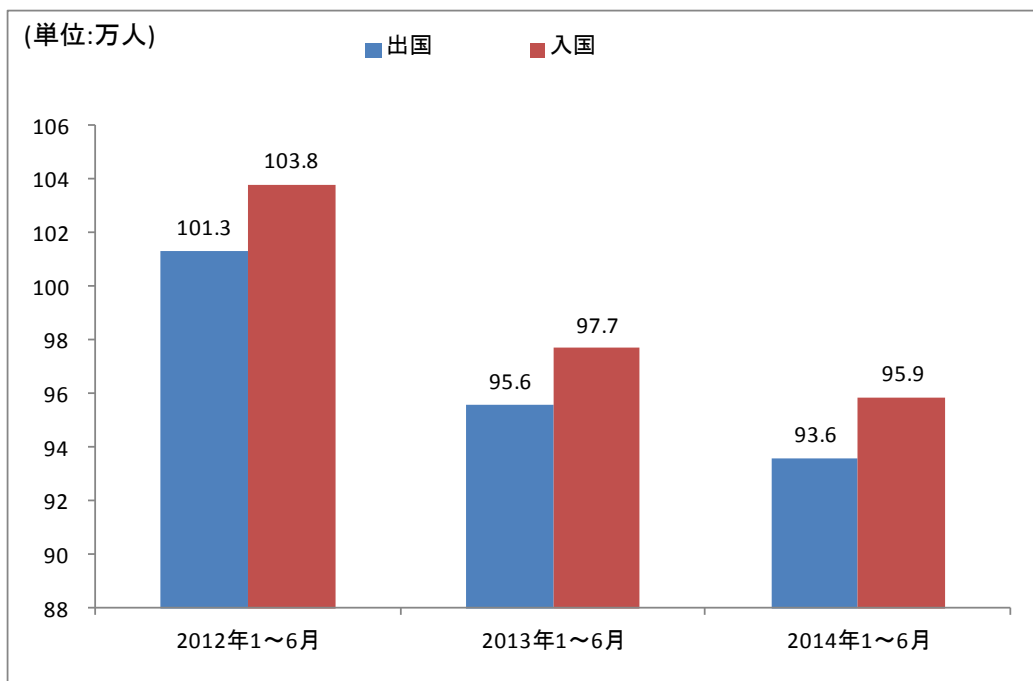
固定電話加入者数は同 24.7%増の 19 万 9,200 回線、携帯電話加入者数は同 3.2%増の 363 万 8,200 回線、ケーブルテレビの加入者数は同 15.6%増の 30 万 6,296 回線となった。

⑤【出入国者数】前年同期比 2.0%減の 189 万 4,726 人

1～6月の出国者数は、前年同期比 2.1%減の 93 万 6,037 人(延べ人数、以下同様)、入国者数は同 1.9%減の 95 万 8,689 人、出入国者総数は同 2.0%減の 189 万 4,726 人だった。(図 13 参照)。

(図 13) 出入国者数の推移

(単位：万人)



(出所) 国家統計局月報

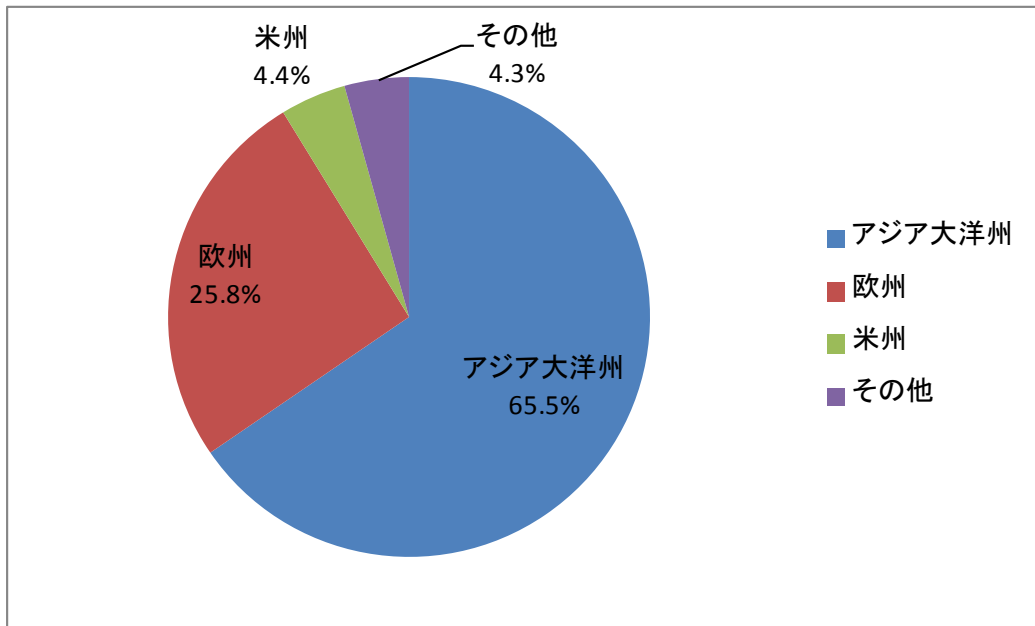
1～6月にモンゴルを訪れた外国人は前年同期比 8.5%減の 15 万 4,533 人だった。

地域別では、アジア大洋州からの入国者が全体の 65.5%を占め、次いで欧州が 25.8%、米州が 4.4%、その他が 4.3%だった(図 14 参照)。国籍別では、中国人が 44.7%、ロシア人が 18.9%、韓国人が 9.9%、米国人が 3.8%、日本人が 3.5%、その他の国籍が 19.3%を占めた。



(図 14) モンゴルへ入国した外国人の地域別シェア

(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

### 3. 社会動向

#### ①【人口】1,000人あたりの人口純増は11.3人

1～6月の出産件数は4万164件、実際に出生した人数は4万417人だった。1,000人あたりの出生者数は14.2人、死亡者数は2.9人、純増は11.3人であった。

#### ②【雇用統計】失業率は前年同期比0.1ポイント増の9.4%

2014年第1四半期の雇用統計によると、労働力人口（15歳以上）は前年同期比1.9%増の116万300人、うち男性が60万8,200人（構成比52.4%）、女性が55万2,100人（同47.6%）となった（表7参照）。

失業者数は10万8,700人、うち男性が6万2,200人（同57.2%）、女性が4万6,500人（同42.8%）で、失業率は前年同期比0.1ポイント増の9.4%だった。

（表7）モンゴルの労働人口と失業率

（単位：万人、%）

	2012年 第1四半期	2013年 第1四半期	2014年 第1四半期
労働力人口	113.9	112.5	116.0
うち男性	59.9	59.8	60.8
うち女性	53.9	52.7	55.2
就業者	103.2	103.8	105.2
失業者	10.6	8.7	10.9
うち男性	5.4	4.7	6.2
うち女性	5.2	4.1	4.7
失業率	9.3	7.8	9.4

（出所）国家統計局月報

**2014年9月～12月の予定**

- 9月2～3日 Invest Mongolia 2014 (於・Blue Sky Hotel、ウランバートル)
- 9月4～5日 Discover Mongolia 2014  
(於・Children's Palace Ulaanbaatar、ウランバートル)
- 9月4～6日 Mining Mongolia 2014 Exhibition  
(於・Buyant Ukhaa Sports Palace、ウランバートル)
- 9月4～6日 Power & Renewable Energy Mongolia  
(於・Buyant Ukhaa Sports Palace、ウランバートル)
- 9月4～6日 Building & Construction Mongolia  
(於・Buyant Ukhaa Sports Palace、ウランバートル)
- 9月10～12日 27th Asian Trade Promotion Forum (ATPF) CEO meeting  
(於・政府庁舎、ウランバートル)
- 9月11～12日 第3回ちばぎんビジネスマッチング商談会 in ウランバートル  
(於・ハーン銀行本店、ウランバートル)
- 9月11～15日 “Ulaanbaatar Partnership” 2014 International Trade fair  
(於・Misheel Expo、ウランバートル)
- 11月 Great Constructions 2014 Joint Exhibition on Trade,  
Investment, Construction, Infrastructure, Information & Communication  
(於・モンゴル商工会議所、ウランバートル)